

教育・研究などへの取組状況(令和 7 年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取組状況
教 育	<p>現代社会論(4年次科目) 日本で推進されている「循環型社会」形成推進諸政策および EU が推進している「循環経済」について、廃棄物処理・資源循環の観点から講義。 資源循環が製品ライフサイクルにおける設計・製造場面でのキーワードになることを、充分には伝えきれなかった。</p> <p>技術倫理(5年次科目) 授業で扱う定番的ケース(事故, 不祥事)のほか, 最新のケースについて, 新聞3紙(毎日, 朝日, 日経)を中心に情報収集に努めた。 倫理学一般の重要概念である「責任」を技術場面において具体的に理解し得る工夫に努めた。</p>
研 究	<p>資源循環に関する新聞, 雑誌記事, 政府の白書, EU 動向を紹介するネット記事の収集に努めた。</p>
社会貢献	<p>京都ヘーゲル読書会相談役として, 年2回(夏・冬)の研究会運営のさい, 同会世話人を補佐した,</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育: 該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究: 該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献: 該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取組状況
教 育	<p>社会文化論(4年次科目)            中江兆民『三酔人経綸問答』を読み進め、人権や民主主義について考える手がかりを示した。            学生に原文の現代語訳を提出させ(分担を決め、一人当たり年2回)、その現代語訳および内容の解説文(こちらは小川が作成)を配布して、学生には馴染みにく、それ自体は読むのが難解な『問答』をできるだけ平易に理解できるように工夫を凝らした(現代語訳に資する材料として、語句等の詳細な注釈文書も配布)。解説文は前年度作成のものを全面的に更新した。</p> <p>技術倫理(5年次科目)            授業で扱う定番的ケース(事故、不祥事)のほか、最新のケースについて、新聞3紙(毎日、朝日、日経)を中心に情報収集に努めた。            倫理学一般の重要概念である「責任」を技術場面において具体的に理解し得る工夫に努めた。</p>
研 究	<p>環境倫理学について資料収集に努めたほか、次年度担当予定の現代社会論の資料収集につとめた具体的には、日本における循環型社会形成のための諸政策および経済社会内における企業等の動向。そして、EU の循環経済政策についての資料収集など。</p>
社会貢献	<p>京都ヘーゲル読書会相談役として、年2回(夏・冬)の研究会運営のさい、同会世話人を補佐した、</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	一般科目文系
職階	氏名
教授	小川清次

項目	取組状況
教 育	<p>特別研究(3年)</p> <p>(前期)…班毎に行われる研究テーマ設定および調査遂行に関して、適宜アドバイスをを行い、必要に応じて調査対象の具体的例示等を行った。また、研究報告会においては、まとめ・結論に関する問題点を自分たちが気づくような誘導的質問に努めた。</p> <p>(後期)…個人毎になされるテーマ設定および調査遂行に関して、毎回報告書を提出させ、各自の進行度合いの把握に努め、かつ調査の問題点について一人ひとりと話をするように努めた。各人が設定するテーマについて必要に応じて担当者(小川)も勉強した。学生が研究内容をまとめる際には調査した事柄と自分自身の考え、意見とを峻別することに重点をおいて指導した。</p> <p>社会文化論(4年)</p> <p>中江兆民『三酔人経綸問答』を読み進め、人権や民主主義について考える手がかりを示した。</p> <p>学生に原文の現代語訳を提出させ(分担を決め、一人当たり年2回)、その現代語訳および内容の解説文(こちらは小川が作成)を配布して、学生には馴染みにく、それ自体は読むのが難解な『問答』をできるだけ平易に理解できるよう工夫を凝らした(現代語訳に資する材料として、語句等の詳細な注釈文書も配布)。解説文は前年度作成のものを更新した。</p> <p>技術倫理(5年)</p> <p>授業で扱う定番的ケース(事故、不祥事)のほか、最新のケースについて、新聞3紙(毎日、朝日、日経)を中心に情報収集に努めた。この年度はダイハツの検査不正が挙がる。従来、技術倫理授業では組織風土の問題点と関連付けた内容を講義してきたが、ダイハツ(および親会社のトヨタ)事例を新たに組み込んだ授業内容にすることが課題となった。</p> <p>技術倫理に環境倫理を「循環」をキーワードとして接続し、「環境への配慮」「廃棄物と循環型社会」という項目を立てた。</p>
研 究	<p>前年度に引き続き、環境倫理学、情報倫理学について情報収集に努めた。いずれも、技術倫理との接続(関連付け)を目指している。</p>
社会貢献	<p>京都ヘーゲル読書会という研究会の世話人として、年2回(夏・冬)の研究会運営に尽力。</p> <p>産学連携推進会主催の経営資質増進セミナーにおいて講演を行った(2023年4月27日、オンライン)。タイトルは「世代間倫理の可能性——環境への配慮行動を支える思想——」</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載